



岸本周平
Kishimoto Shuhei
中央大学客員教授

<http://www.shuhei-k.jp>

<http://blog.goo.ne.jp/shu0712>

自転車作戦 PART 2

落選中の候補者稼業も1年半となりました。この連載だけでも1年以上続いています。この年齢で恥ずかしいのですが、人生には経験しなければわからないことが山ほどあります。官僚からトヨタ自動車(株)を経て、政治の世界に入ったものだから、毎日が勉強です。

今年の1月から、自転車で和歌山市内を回ることになりました。いわゆる「ママチャリ」という主婦がお買い物に行くときに使う自転車です。その荷台にプラスチックの水道管をくりつけ、「岸本周平」と書いたのぼりを差し込んで走ります。これは目立ちます。



この連載第1号では、さっそうとマウンテンバイクに乗った写真が載っています。マウンテンバイクではダメなんです。そのことに気が付くのに1年半もかかってしまいました。自動車よりは自転車で走っていた方が、有権者の受けは良いのですが、マウンテンバイクよりも「ママチャリ」の方がもっと感じが良いのです。さらに、「岸本周平」というのぼりまで立てていまずから、こちらの必死さが伝わります。

今日も、早朝の街頭演説の時に南海電鉄和歌山市駅からJR和歌山駅まで、大通りをこの自転車で走って移動しました。交差点で待っていると、バイクのおばさんが「頑張ってるね!」、自転車の奥さんが「ごころさま!」と声をかけてくれます。駅前での演説のおかげで、タクシーの運転手さんとは皆さん顔なじみなので、ニヤッと笑っていただけます。普通のドライバーの方は、一瞬ギョッとした表情をしますが、その後、フーンという感じになります。何台か、知り合いの車がクラクションを鳴らしてくれました。移動に15分くらいかかってしまいますが(車でも10分はかかります)身体も温まりますし、有権者との距離も近くなり、一石二鳥です。

こんな素晴らしいことに1年半も気が付かなかったとは!残念です。しかし、官僚上がりの私がこのことに気付くには、やはり1年半という時間が必要だったのかもしれない。何が何でも当選して、良い政治がしたいという熱い思いがようやく湧いてきたということでしょうか。

もっとも、最初にこの自転車に乗って、和歌山市内で一番大きな「けやき通り」を走った時、はじめの5分間は恥ずかしくてうつむき加減でした。それでも、励ましの声をいただいてからは、胸を張って乗れるようになりました。

政治は感動を与えるところから始まります。小さなことかもしれませんが、和歌山市民の皆さんにサプライズと小さな感動を感じてもらえれば幸いです。苦笑でも冷やかしてもよいと思います。和歌山在住の皆さんは、この自転車を見つけたら、ぜひ手を振ってください。全国の皆さんは、暇があれば和歌山に観光を兼ねて自転車を見に来てください。おいしい和歌山ラーメンもありますよ。

